



Creating New Traditions

# JAPANブランド エキジビション in Paris の実施について



2009年12月25日

日本商工会議所、全国商工会連合会





- ・ JAPANブランド育成支援事業は、地域一丸となって、地域の素材・技術等を活かした製品等の魅力をさらに高め、「日本」を表現しつつ世界に通用する「ブランド力」(JAPANブランド)を確立していこうとする取り組みに対して、総合的な支援を2004年度から実施しています。
- ・昨年度、海外におけるはじめての販路開拓の試みとして、パリの三越エトワールにて、「JAPANブランド エキジビション in Paris」を開催しました。会場では300件以上の商談が行われ、数多くの商談が成約しました。
- ・欧州のバイヤーから大変好評であった、同事業を今年も開催いたします。今年度は、JAPANブランド事業に取り組む15プロジェクト、22出展者が参加します。
- ・本事業では、フランスにおいて出展者の製品を売り込む「セールスフォース」を組織し、会期の前にマーケティング活動を行うことを大きな特徴としております。出展者には、自社の商品に興味を持ったバイヤーとのアポイントが事前に設定されます。それにより、商談の成約率向上を目指しています。

## JAPANブランド エキジビション in Paris 開催概要



- 開催趣旨: JAPANブランド製品の欧州における販路開拓・拡大を目指し、参画事業者がフランスを中心とする欧州のビジネス関係者との商談を行うことを目的とする。
- 名称: JAPANブランド エキジビション in Paris
- 会期: 2010年1月20日(水) ~ 21日(木)
- 会場: 三越エトワール(3 Rue de Tilsitt 75008 Paris, France)
- 出展対象: JAPANブランド採択プロジェクトに参画する各地の商工会議所・商工会又は団体に所属する事業者。
- 来場対象: JAPANブランド採択事業者との商談を目的とする欧州のバイヤー、ディストリビューター、販売代理店、小売店、デザイナー等。
- 主催者: 日本商工会議所、全国商工会連合会
- 企画・運営事務局: 三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)

## JAPANブランド エキジビション in Paris 出展者



1. 弘前商工会議所 (TSUGARU URUSHI SPIRIT LLC)
2. 弘前商工会議所 (TSUGARU IRON WORKS)
3. 盛岡商工会議所 (南部鉄器協同組合)
4. 会津若松商工会議所 (BITOWA from AIZU)
5. 長野商工会議所 (岡正子デザインオフィス)
6. (財) Globally Local Media
7. 静岡商工会議所 (nippon sense)
8. 輪島商工会議所
9. 京都商工会議所 (アンドウ株)
10. 京都商工会議所 (株細尾)
11. 京都商工会議所 (株丸進)
12. 京都商工会議所 (株ルシエール・ジャパン)
13. 京都商工会議所 (株岡重)
14. 京都商工会議所 (有紋裏庵)
15. 京都府商工会連合会 (關原紫水)
16. 京都府商工会連合会 (丹後テキスタイル)
17. 淡路市商工会
18. 府中商工会議所 (佐々木木工株)
19. 府中商工会議所 (株松創)
20. 鳥取県商工会連合会 (谷口和紙株)
21. 内子町商工会 (株五十崎社中)
22. 大川商工会議所 (株添島勲商店)

# JAPANブランド エキジビション in Paris 出展製品



【弘前商工会議所】



【弘前商工会議所】



【盛岡商工会議所】



【会津若松商工会議所】



【長野商工会議所】



【Globally Local Media】



【静岡商工会議所】

# JAPANブランド エキジビション in Paris 出展製品



【輪島商工会議所】



【京都商工会議所(アノウ)】



【京都商工会議所(細尾)】



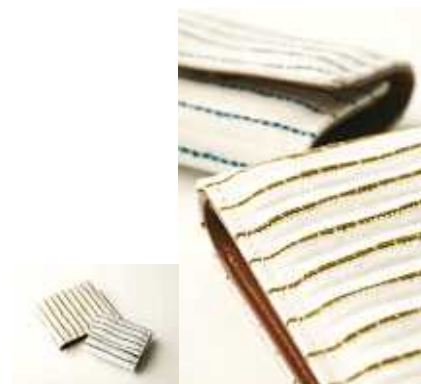
【京都商工会議所(丸進)】



【京都商工会議所(ルシエル・ジャパン)】



【京都商工会議所(岡重)】

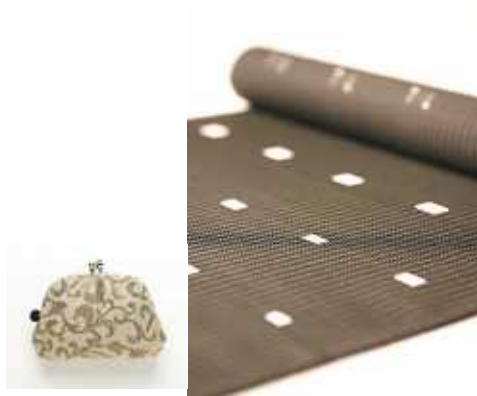


【京都商工会議所(絞裏庵)】



【京都府商工会連合会  
(關原紫水)】

# JAPANブランド エキジビション in Paris 出展製品



【京都府商工会連合会  
(丹後テキスタイル)】



【淡路市商工会】



【府中商工会議所(佐々木木工)】



【府中商工会議所(松創)】



【鳥取県商工会連合会】



【内子町商工会】



【大川商工会議所】

## 会場(三越エトワール)について



1860年代築。凱旋門を取巻く12の歴史的建造物のひとつ。  
凱旋門広場から放射線状に伸びる12本の通りの基点の間に位置する。  
ナポレオン3世が、ナポレオン1世の遺志であった凱旋門を建設した後、  
軍に功績のあった歴史的将軍家を顕彰する基金として売却された土地に建設された館。  
その由来により12棟は別名「オテル・ド・マレショー(将軍の館)」と呼ばれる。地下1階地上5階建。

1992年6月、日本とフランスを中心とするヨーロッパ諸国との文化交流や相互理解の活性化を目的に、  
現在の形で開館した。  
これまで、日仏文化交流空間として日欧を代表する芸術家による展覧会を多数開催してきた。

